

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 2月 18日

事業所名 放課後等デイサービス ことのは

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
	2	職員の配置数は適切である	4			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1		・スロープや手摺りは設置していない。 聴覚障害児の施設として、室内の音環境を十分に整えたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			・職員会議を行い、共通理解を図っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0		・保護者の要望にはできる限り応えるよう努めていきたい。改善すべき点は改善していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	0		・今後、外部評価を行う方向で検討中。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			・難聴の子どもたちの理解から進めている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		・言語に関しては、標準化された評価ツールをそろえているが、適応行動について総合的に評価できるものはない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			・立案後、チームで検討し個々に合わせたプログラムを作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0		・固定化しているものもある。語彙、漢字、四則演算、活用等に関するプログラム。 ・必ず身につけておきたい習慣や技能に関するプログラムについては、あえて一部固定化している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			・都度、子どもの状況に合わせて課題計画を立てている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			・確実に実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			・気が付いたことを話し合い、共有し次の支援に繋げている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			・専門的な視点から、考察も含めた詳細な記録をとる様に心がけている。共有化に努めたい。 ・支援につながる記録の取り方の共有化を図りたい
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			・短期、長期の目標を達成しているか検討している。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			・自発管が参加
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	0		・過程を通してはできている。学校とは今後、連携をとっていきたい。 ・適宜連絡を取り情報収集等を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	0		・聴覚障害、人工内耳等については体制を整えている。その他は、現時点で事例無し。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	0		・現時点で事例はない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	0		・現時点で事例はない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	0		・事業所として、事業所における活動に関してはインテグレーション教育の方針をとっていないため、特に努めてはいない。今後行う可能性はある。 ・地域の行事に参加。交流の機会を得ている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			・連絡帳+保護者の送迎の際などに詳細な情報交換を行っている。 ・気が付いたこと、子育てに参考になることは伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1		・できる限り行っている。 ・保護者からの質問や相談等には対応し、情報提供を行っている。保護者からの要望があれば、ペアトレも導入予定。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			保護者からの相談があれば対応している。また、事業所内で気付いたことがあれば、報告し改善策や事業所での対応等を相談している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2	0		事例無し。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			
	35	個人情報に十分注意している	4			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	2		地域行事への参加や、地域施設の利用、見学等は積極的に行っている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	0		・保護者への説明は行っていない。 ・非常時に直ぐ対応できるように、文書で周知を図りたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	0		・計画中
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			・研修を計画中。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3			・身体拘束を必要とする事例が未だない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	0		・保護者から情報を得て対応している。医師の指示所を拜見した事例はない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	0		・事例がないため事例集の作成はできていないが、共通理解は行っている。